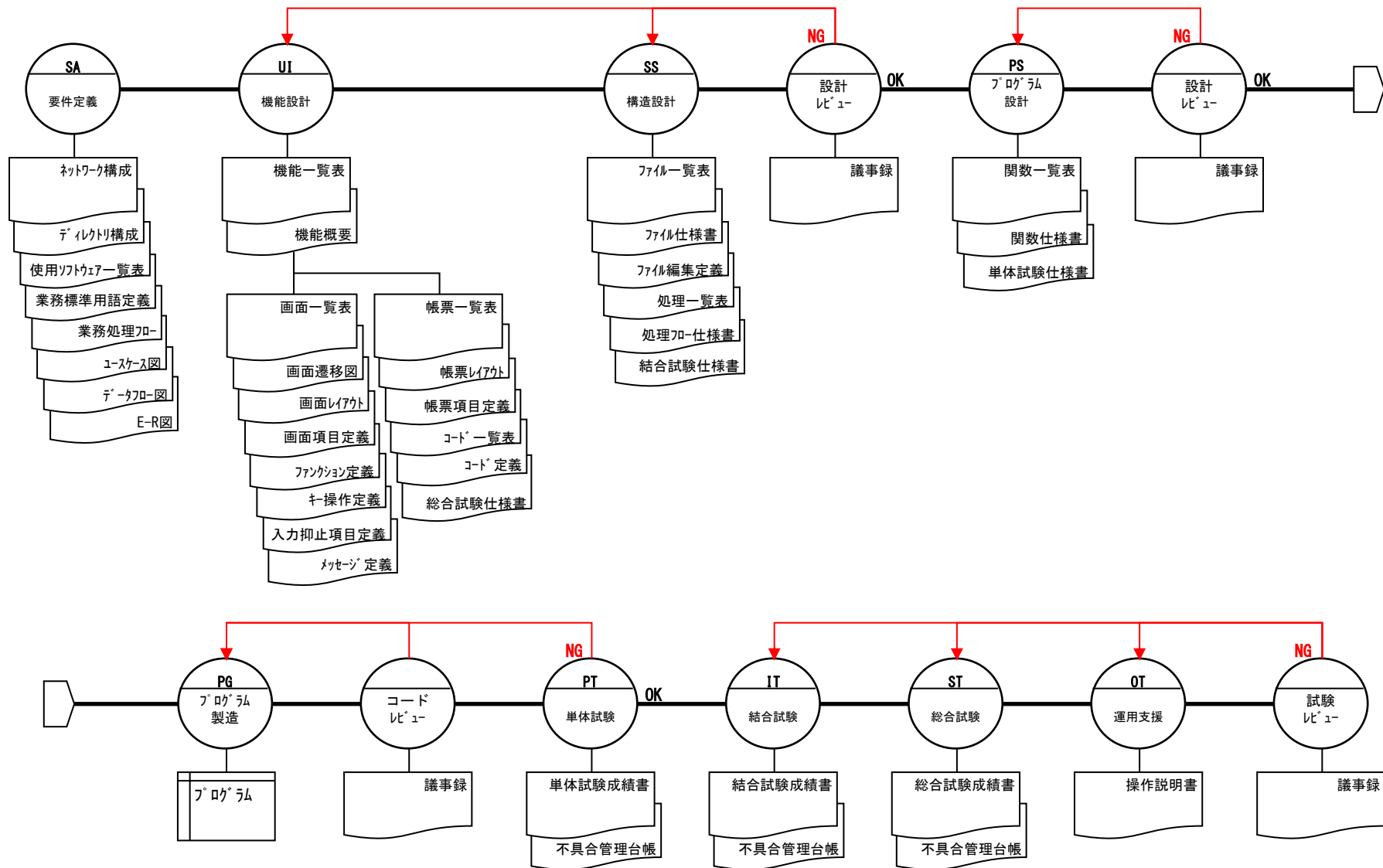


開発工程プロセスフロー



開発工程作業内容

大工程	中工程	小工程	ID	工 程 の 目 標	作 業 内 容
分析		要件定義	SA	①ユーザ要件の把握／システム開発の必要性・可能性を検討し、計画立案する。 ②システムの概念設計及び費用効果の分析。 ③プロジェクト体制／工程／製品目標／資源の具体的な決定。	①ユーザ要件分析（現状問題点／業務調査／現システム分析／要件調査分析）、新システム構想立案（目的と必要性／構想／代替案検討）を行う。 ②システムの主要機能、処理範囲、相互関連、入出力要件などユーザ要件に基づいて設定、あわせて実現調査を行い、技術的裏付けをとる。 ③プロジェクトを推進するにあたり、ユーザ要件の確認及び主要機能の見直しを行う。 ④データ量を把握し、性能・ハードウェア構成の見直しを行う。
設計	システム設計	機能設計	UI	①ユーザ要件の収集分析結果を基に、システムの機能を確定する。 ②機能を実現する為に必要な基盤（システム構成など）を明確にする。	①ユーザから見た主要機能を決定する。 ②処理能力・信頼性などの観点でハードウェア構成を見直し確定する。 ③コード設計（社員コード、地域コード、etc）を行う。 ④アクセス時間・マスタファイル編成方法を決定する。 ⑤障害発生時の運用手順を決定する。
		構造設計	SS	①システム構築上必要となる全ての機能の洗出しを行う。 ②機能をプログラムに分割し、プログラム間の処理の流れを明確にする。	①システム内のデータフロー、処理フローを明確にし、事務フローとの対応をとる。 ②システムから見た機能を決定する。 ③会話手順を決定する。 ④リカバリの範囲とデータ保証内容を決定する。 ⑤入出力イメージを決定する。
		設計レビュー		①ユーザ要件が十分反映されているか？ ②設計書がプログラム設計作業に進められる内容になっているか？のチェックを行う。	①使い易さの検討を行う。 ②ユーザ要件とシステム設計書との整合性チェックを行う。 a. 機能・性能・信頼性・障害対策は十分か？ b. 機能別の入出力仕様は明確か？
	プログラム設計	プログラム設計	PS	①システム設計書に基づいて、各プログラムの内部構造設計を行う。 ②プログラムの属性を決定し、モジュールに分割しモジュール間のインターフェースを決定する。 ③モジュール内の詳細処理を設計する。	①プログラムをモジュールに分類し、各モジュールの仕様（機能／入出力／インターフェース）とモジュール間インターフェース仕様、全体の制御方式などを設計する。 ②メッセージ（エラーメッセージも含む）を設計する。 ③入出力形式（帳票類の決定など）を決定する。 ④結合テスト（プログラム間など）仕様及びシステムテスト仕様の設計を行う。 ⑤モジュール仕様に基づいて、モジュール内の処理手順設計及びデータ設計を行う。 ⑥モジュール仕様を確認する為のモジュールテスト仕様を設計する。
		設計レビュー		①システム設計書の内容が、プログラム設計書に十分反映されているか？ ②設計書がプログラミング作業に進められる内容になっているか？のチェックを行う。	①システム設計書とプログラム設計書の整合性チェックを行う。 a. 仕様通りの機能を実現しているか？ b. 適確な表現がなされているか？ c. プログラム構造は柔軟性をもっているか？ d. 性能・処理能力目標を満足しているか？ e. プログラム間インターフェースの確認を行う ②テスト仕様書と設計書の整合性チェックを行う。 a. テスト項目のものはないか？ b. 実施するうえで問題はないか？（テスト環境と本番環境との違い etc）
製造	プログラム製造		PG	①プログラムのコーディングを行う。	①コーディングを行う。 ②テストデータの作成を行う。
	コードレビュー			①コーディング内容のチェックを行う。	①静的テストを実施し、コーディング内容のチェックを机上にて行う。
		単体試験	PT	①モジュールテスト仕様書に基づいてモジュールテストを行う。	①モジュールのテストを行う。

開発工程作業内容

大工程	中工程	小工程	ID	工 程 の 目 標	作 業 内 容
試験		結合試験	IT	①結合テスト仕様書に基づき、モジュール間／プログラム間などの結合テスト及び結合された段階毎の機能テストを行う。	①システムの総合的な機能／性能／例外処理／互換性／操作性テストを行う。 ②ドキュメントとの整合性チェックを行う。
		総合試験	ST	①総合テスト仕様書に基づき、システムを総合的にテストし、製品目標項目を確認する。	①システムの総合的な限界(過負荷含む)／耐久／構成(サポート機器に対して)テストを行う。 ②ドキュメントとの整合性チェックを行う。
		運用支援	OT	①本番の環境でのシステム動作の確認を行う。	①本番の環境で本番のデータを使用し、エンドユーザによる業務としての流れにおけるシステム動作の確認を行う。
		試験 レビュー		①製品目標とプログラム／解説書／操作説明書との整合性など、品質最終チェックを行う。	①システムの機能・性能面より評価を行う。 a. 各機能は十分にテストされているか？ b. 性能目標を満足しているか？ c. 実現されていないユーザ要件はないか？ d. プログラムと操作説明書との整合性はとれているか？ e. ドキュメントの修正漏れはないか？